

タイトル

かた
語りべ ロボット

2022 年 7 月 28 日

年 組 名前 科学2組=4-9- ま山 由希江



動機・目的

家にひとりでいて、1人しきりして、でも特に話したいことがある
あけでもなく・・・みたいなときに、お話をきかせてくれるロボットが
ほしいと思った。ラジオとかにちかい感覚かな？ でも、声だけでなく
相手のすがたかたちもあったほうが良いと思った。

研究（仮説・調査）

調査：友人や家ぞくに、「どんな相手が」「どんな話をしてくれる」
と良いか、ヒアリングを行った。

どんな相手 → なかなか会えない友だち、亡くなった家ぞく、どうぶつ、歴史上の人物、
どんな話 → 思い出話、本のろうどく、知らなかったこと、テスト範囲を分かやすく、
芸人さん、雑談



わたしのロボット研究まとめ

< 語りベロボット デザイン案 >

・基本は、もやっとしたかたまり (なんとなく頭っぽい部分がある)

・イスやソファにすわらせて使う。

・いろいろな語りベの形に変わる。

↑ (素材がやわらかく、ロボット本体の形状があるし、こまかい部分はプロジェクションマッピングみたいに投影で表現する)

・データを入れれば自分の家ぞくや友だちも再現できる。

・基本は一方的な“語り”だが、簡単な会話はできていいかも。

・口周りは複数パターンアリ (だよねモード、ですますモード、だぞあるモードなど)

・語りとセットで手話も対応している

●イラストや図を描いたり写真を貼ってみよう!



基本形



思い出を語るばあちゃん



考察・感想

- 実際のできごとを話すとき（ばあちゃんや平家の人など）と、ものがたりに基づいて話すとき（鬼など）は混同しないよう表示があった方が良いかも **史実モード** **ものがたりモード** など。（肝どうはどちらだろう？）
- ハッキングされて、ひどい悪口やうそ、こわい話などをされると困るのでハッキング対策が重要。←
- 芸能人の見た目だけこのロボットで再現して、語る内容は既存のラジオをそのまま使えば、より充実したリスナー体験ができるかも！（見えるラジオ、的な）
- 技術的な実現可能性は、今後の検証課題である。

ハッキング以外にも
悪用される危険性は
ないかな？

参考

- 特別展「きみとロボット」公式ブック（朝日新聞社）

